

GA2000バルブ制御システム 取扱説明書



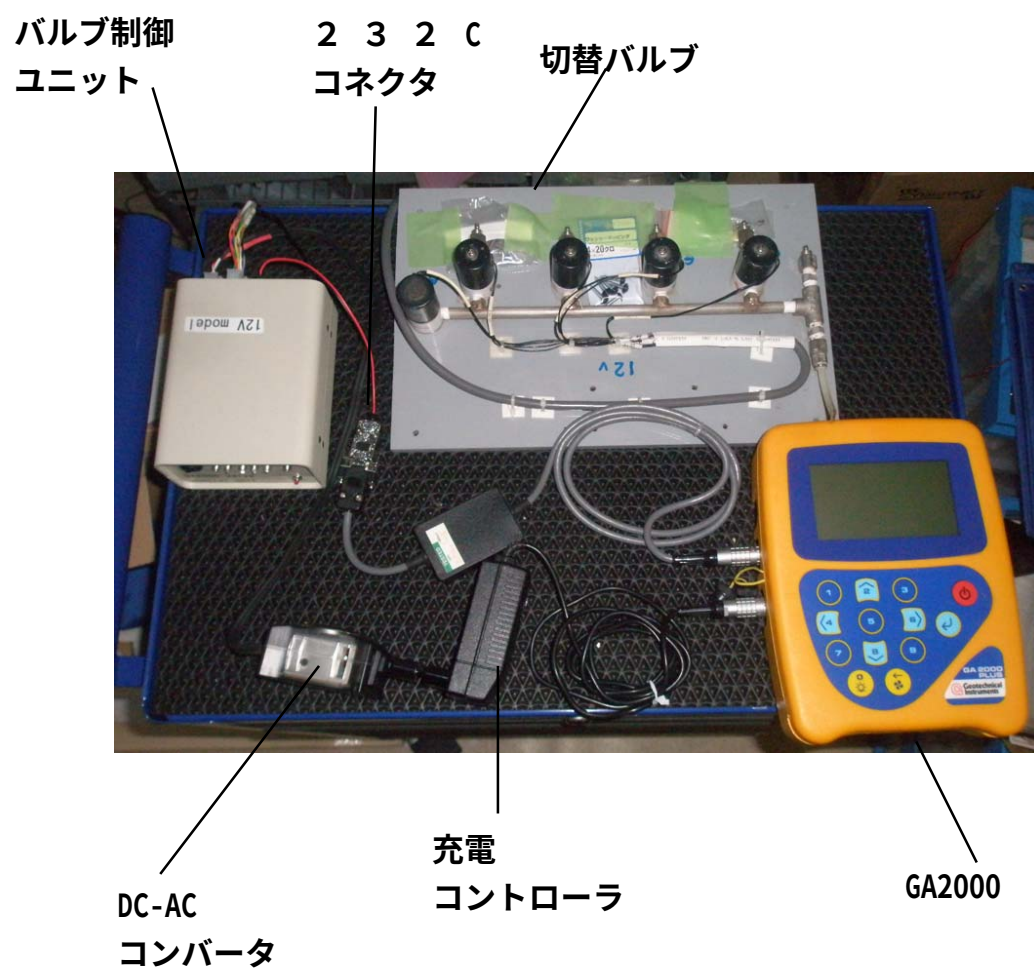
第1版 2012/08/01

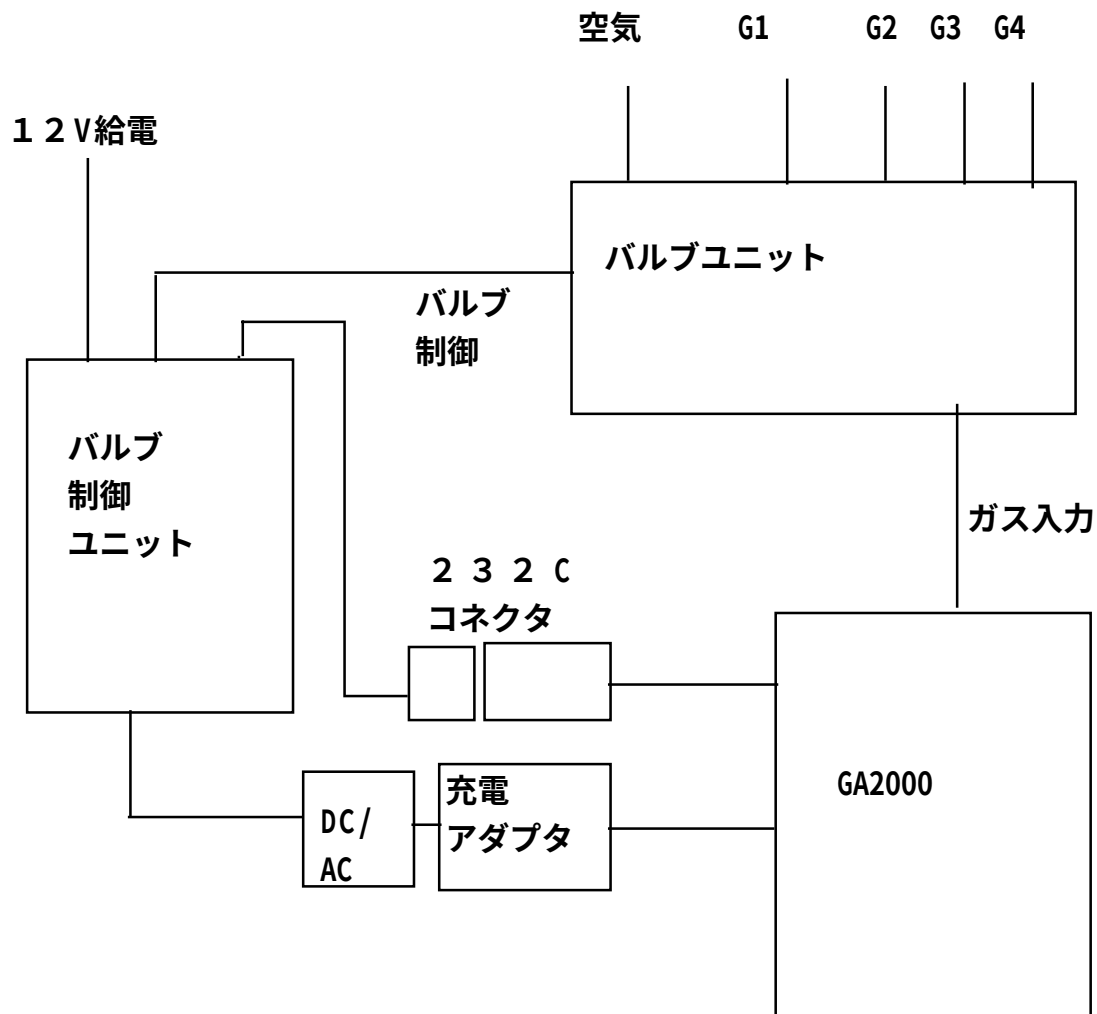
アспект・システム有限公司

1. 概要

GA2000ログ開始時の232C信号を検知し、順次バルブを切替え、複数の箇所でのガス計測を可能にする。

2. システム構成





ガスバルブは、空気と4つのガス入力をバルブで順次切替、GA2000の1つの入力に受け渡す。

バルブ制御ユニットは、バッテリーからの12Vを元にバルブや、GA2000の充電用のDC/ACコンバータ電源を供給する。

充電用の給電は1日1回20分行い、省電力のため、連続した給電は行わない。

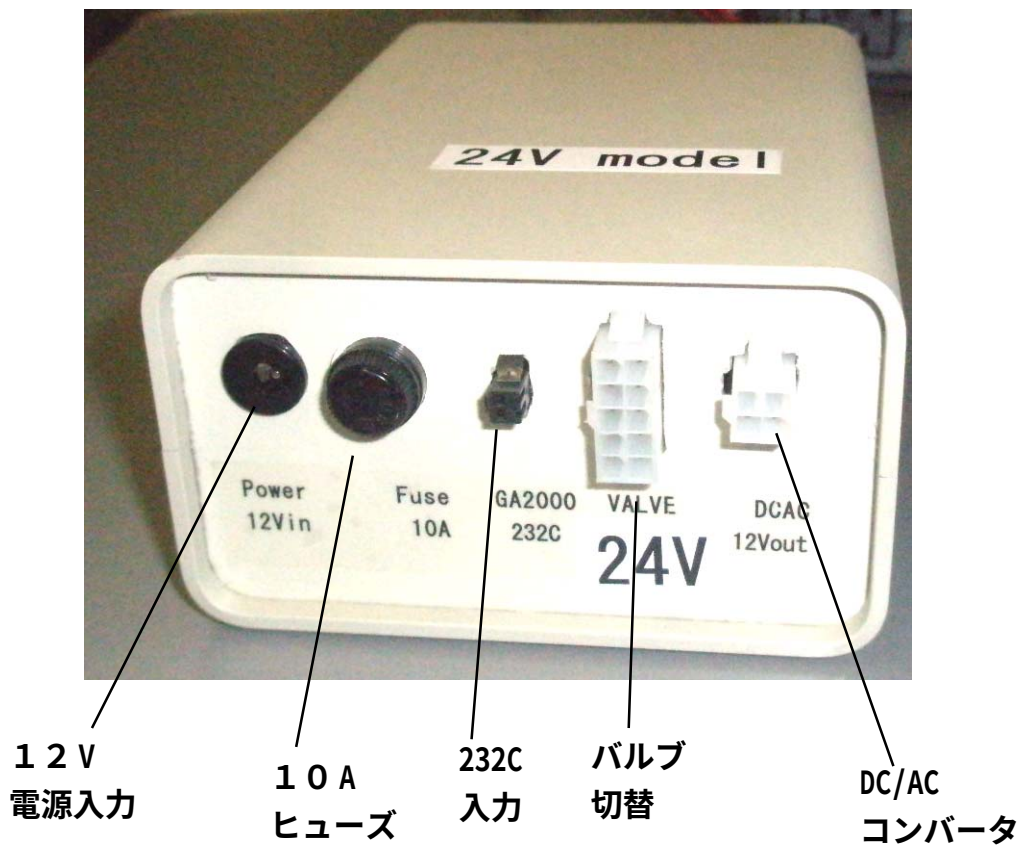
バルブの切替は、GA2000からの232C信号を5秒間連続して検知して行う。

なお、1時間以内のバルブ切替は、GA2000の再計測として順序に従った次のバルブでなく前に計測を行ったバルブを制御する。

3. 使用方法

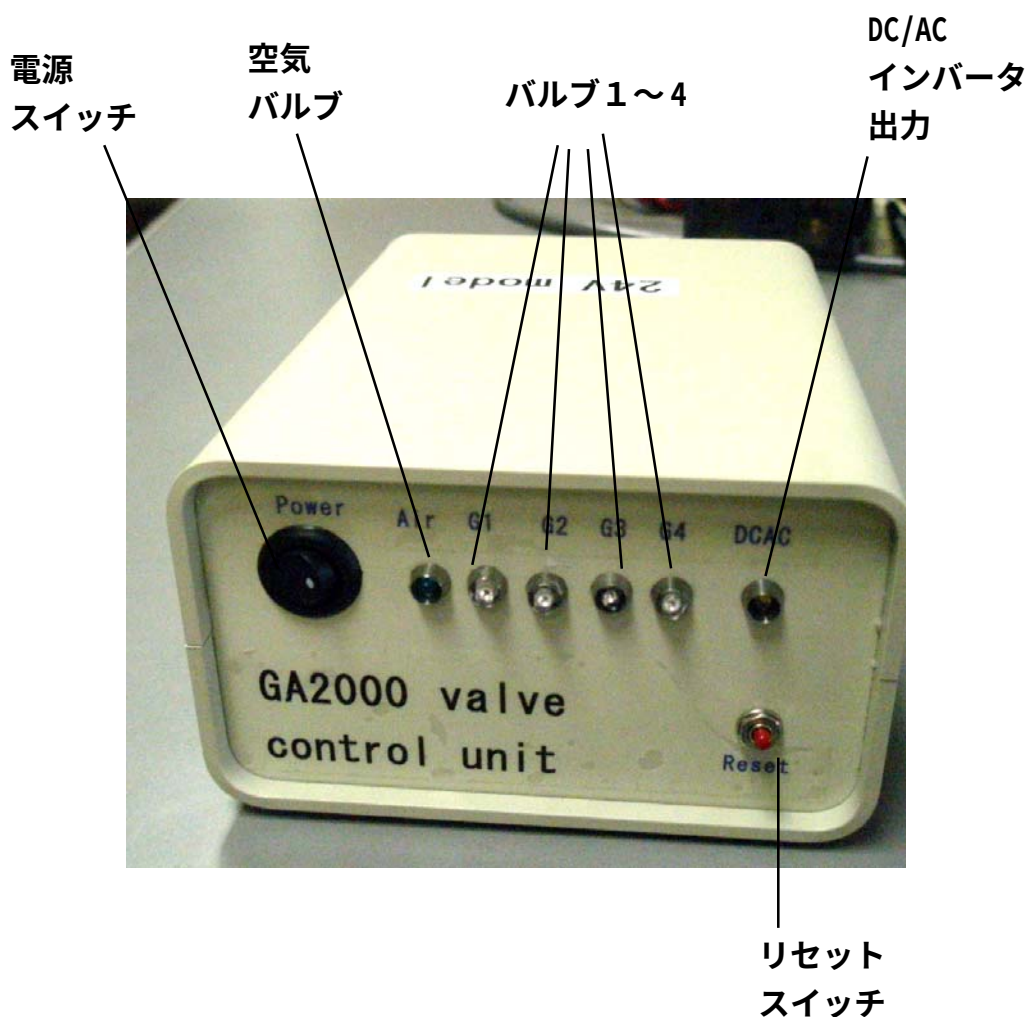
- 1) 各機器を設置し、ケーブルを写真に従って配線する。

バルブ制御ユニット 背面



コネクタの形状は、接続先別に異なり、誤った接続を避ける構造であるが、24Vバルブと12Vバルブは同じコネクタなので接続に注意する。

2) 電源を投入し、動作を確認する。



電源スイッチを投入すると、20分間のDC/ACインバータへの電源供給を開始する。
右端のLEDが点灯

以降、GA2000からの232CC信号を検知して、バルブを空気から切り替えて行く。

切替は、空気、G1、空気、G2、空気、G3、空気、G4を繰り返す。

リセットを押すと、最初の状態にもどる。(電源投入時と同じ)
GA2000ログを最初から行いたい場合、リセットで最初のバルブの順序で
開始できる。

バルブのLEDは、動作時には点灯したままであり、切替を待っている状態では
点滅を繰り返す。

★ 制御ユニットは、12Vバルブと24Vバルブ個別に対応しているので
接続を誤らないこと。(バルブを壊す可能性がある)